

総合病院国保旭中央病院で診療を受けられる患者さんへ

総合病院国保旭中央病院では、以下の研究を実施しております。

研究の対象になる可能性がある患者さんで、診療情報が研究目的で利用されることを望まれない方は、下記のお問い合わせ先にご連絡下さい。

1. 研究課題名

入院時血液検査(血算)のデータを指標した急性期脳梗塞患者の予後予測

2. 研究の対象患者

当院を受診した脳梗塞患者さんで、以下の選択基準を満たし、除外基準のいずれにも該当しない患者さん

・選択基準

- ① 脳梗塞と診断され入院した患者さん
- ② 来院時年齢が20歳以上の患者さん

・除外基準

- ① 脳梗塞発症後24時間以上経過していると推測される患者さん
- ② 血液疾患、慢性炎症性疾患の既往がある患者さん
- ③ 免疫抑制薬(プレドニゾロンを含む)を使用中の患者さん
- ④ 来院前1ヶ月以内に何らかの感染症(肺炎、尿路感染等)の既往が明らかな患者さん
- ⑤ その他、研究責任(分担)者が研究対象者として不適当と判断した患者さん

3. 研究の対象期間

2007年1月1日～2018年12月31日

4. 研究の概要

【背景】脳梗塞患者は感染症を起こしやすく、感染症による死亡が多いことが指摘されており、その病態には脳梗塞後の免疫応答が強く関与していることが明らかになっている。入院時にはルーチンで血算を含めた血液検査を施行するが、近年Eosinophil(好酸球)と脳梗塞患者の予後との関連に関しての報告がされている。

【目的】脳梗塞患者において、入院時血液検査と予後との関連を検証することを目的とする。

【意義】本解析により、入院時にルーチンで行う血液検査項目が脳梗塞患者の予後を予測しうる指標となり得るかを検証することができる。

5. 研究実施予定期間

2018年11月21日～2020年3月31日

6. 研究に用いる試料・情報の種類

研究対象者背景、来院時の主訴、病歴、来院時バイタルサイン、血液検査、画像検査、生理学的検査、入院時の臨床情報、退院サマリー

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保証に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出下さい。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

(連絡先) 地方独立行政法人 総合病院国保旭中央病院

- ・研究責任者：総合診療内科 渡邊 稔之
- ・臨床研究支援センター

電話：0479-63-8111(代)